

# 片平博文教授 略歴 主要著書・論文目録

## 略 歴

### 学 歴

- 1950年8月 兵庫県淡路島に生まれる  
1974年3月 立命館大学文学部地理学科地理学専攻 卒業  
1977年3月 立命館大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程 修了  
1979年4月 立命館大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程 中退  
1996年3月 博士（文学）

### 職 歴

- 1979年5月 東京都立大学理学部 助手（～1985年3月まで）  
1985年4月 立命館大学文学部 助教授（～1994年3月まで）  
1994年4月 立命館大学文学部 教授

### 非常勤講師歴

京都精華女子高等学校、三重大学人文学部、佛教大学文学部、京都橘女子大学文学部、京都大学総合人間学部・文学部、大阪大学全学教育推進機構・文学部、奈良女子大学文学部、関西学院大学文学部、滋賀医科大学医学部、京都府立医科大学医学部、東京都立大学理学部

## 主要研究業績

### 1 畿内を中心とする条里制・荘園村落等に関する研究

- ・「大和国乙木荘の歴史地理学的研究」、人文地理 30-2、1978.
- ・「大和国乙木荘における荘園村落の発達過程」、地理学評論 53-1、1980.
- ・「条里型土地割内部にみられる一反未満の地積とその分布－奈良盆地の場合－」、(立命館大学文学部地理学教室、立命館大学地理学同友会編『地表空間の組織』、古今書院)、1981.
- ・Historical Development of the Agrarian Landscapes and Rural Settlements in the Jori Grid Area – A Case Study of Kinai (Central Kinki)–, *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* 17, 1982.
- ・「古代日本における地域区分の成立とその認識」、(中村和郎・岩田修二編『地誌学を考える』、古今書院)、1986.
- ・「近江国霸流荘墾田地図」、(金田章裕・石上英一・鎌田元一・栄原永遠男編『日本古代荘園図』、東京大学出版会)、1996.
- ・「荘園と村落」、(桑原公德編『歴史地理学』、佛教大学)、1997.

## 2 オーストラリアの農業開発と栽培環境の変化に関する研究

- ・ Land Use Development in the Semi-arid Regions of Australia since the 1800s, in Toya, H., Takeuchi, K. and Ohmori, H. eds.: *Studies of Environmental Changes due to Human Activities in the Semi-arid Regions of Australia*, Department of Geography, Faculty of Science, Tokyo Metropolitan University, 1985.
- ・ Progress of Settlement in the Semi-arid Region of South Australia – A Case Study of Pekina and Black Rock Plain –, *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* 21, 1986.
- ・ 「南オーストラリア半乾燥地域における土地利用の進展－マレーマリー地域を事例として－」、立命館文学 499、1987.
- ・ 「半乾燥地域における小麦作の進展と降水量変動－南オーストラリア州マレーマリー地域を例として－」、人文地理 40-4、1988 (岩崎一孝と共著).
- ・ 「オーストラリア半乾燥地域の開拓と穀物栽培地の形成」、歴史と地理 401、1989.
- ・ 「半乾燥地域における新農業システムの普及とそれに伴う小麦栽培の確立－サウスオーストラリア州を事例として－」、立命館地理学 1、1989.
- ・ 「サウスオーストラリア州エーア半島内陸部における農業的土地利用の進展－半乾燥地域の歴史地理学研究－」、立命館文学 516、1990.
- ・ 「多様な文化を持つ社会－移民の国オーストラリア－」、由比浜省吾編『新訂オセアニア 世界地誌ゼミナールⅧ』、大明堂)、1991.
- ・ 「サウスオーストラリアの開発と農業の進展－歴史地理学的視点からのレビュー－」、人文地理 44-6、1992.
- ・ 「サウスオーストラリア州農業限界地の開発」、立命館文学 527、1993.
- ・ 「サウスオーストラリアにおける穀物栽培地の開発」、(山田安彦教授退官記念論文集記念会編『転換期に立つ地域の科学』、古今書院)、1993.
- ・ 「サウスオーストラリアにおける干ばつと小麦収穫量の変動」、立命館国際地域研究 4、1993.
- ・ 「オーストラリア地誌学の動向」、(谷岡武雄・浮田典良・正井泰夫編『新訂世界地誌の研究と教育 世界地誌ゼミナールⅨ』、大明堂)、1994.
- ・ 『サウスオーストラリアの農業開発－小麦栽培地域の歴史地理－』、古今書院、1995.
- ・ 「19世紀オーストラリアにおける小麦栽培地域の拡大」、立命館文学 551、1997.
- ・ サウスオーストラリアにおける入植初期の統計資料類」、立命館文学 553、1998.
- ・ 「サウスオーストラリア州南東部における排水路の建設と農地の拡大」、岐阜地理 43、1999.
- ・ 「オーストラリア－自然と人間との関係に着目した地誌－」、(矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編著『地誌学概論 地理学基礎シリーズ 3』、朝倉書店)、2007.

## 3 高等学校の地理教科書に関する業績

- ・ 『新詳地理 B (最新版)』、帝国書院、1994 (佐藤久・谷岡武雄・村田喜代治・高橋彰・田嶋久・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典と共著).
- ・ 『高等学校新地理 A (最新版)』、帝国書院、1995 (佐藤久・谷岡武雄・村田喜代治・高橋彰・田嶋久・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典と共著).

- 嶋久・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典と共著).
- ・『新詳地理 B (初訂版)』、帝国書院、1998 (佐藤久・谷岡武雄監修、高橋彰・田嶋久・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典・池田安隆・松本淳と共著).
  - ・『高等学校新地理 A (初訂版)』、帝国書院、2000 (佐藤久・谷岡武雄監修、高橋彰・田嶋久・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典・松本淳と共著).
  - ・『新詳地理 B (最新版)』、帝国書院、2003 (高橋彰・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典・杉谷隆・松本淳・戸井田克己と共著).
  - ・『高等学校新地理 A (最新版)』、帝国書院、2004 (高橋彰監修、矢ヶ崎典隆・内藤正典・松本淳・戸井田克己・永田淳嗣・須貝俊彦と共著).
  - ・『新詳地理 B (初訂版)』、帝国書院、2007 (高橋彰・平戸幹夫・矢ヶ崎典隆・内藤正典・杉谷隆・松本淳・戸井田克己と共著).
  - ・『高等学校新地理 A (初訂版)』、帝国書院、2008 (高橋彰監修、矢ヶ崎典隆・内藤正典・松本淳・戸井田克己・永田淳嗣・須貝俊彦・丸川知雄と共著).
  - ・『新詳地理 B』、帝国書院、2013 (矢ヶ崎典隆・内藤正典・戸井田克己・友澤和夫・永田淳嗣・須貝俊彦・丸川知雄・木村圭司と共著).
  - ・『高校生の地理 A』、帝国書院、2014 (戸井田克己・須貝俊彦・小野寺淳・木村圭司・武者忠彦・佐々木緑と共著).

#### 4 平安京の風景や歴史災害に関する研究

- ・「枕草子にみる平安時代の歴史的環境」、(吉越昭久編『人間活動と環境変化』、古今書院)、2001.
- ・「『枕草子』にみる平安京郊外への道」、(日下雅義編『地形環境と歴史景観』、古今書院)、2004.
- ・「自然地名とその認識」、(吉田金彦・糸井通浩編『日本地名学を学ぶ人のために』、世界思想社)、2004.
- ・「双池」(京都地名研究会編『京都の地名検証－風土・歴史・文化を読む』、勉誠出版)、2005.
- ・「変化した平安京の北西部のかたち」(中村和郎編『地図からの発想』、古今書院)、2005.
- ・「賀茂川東岸地域における洪水の痕跡」、立命館文学 593、2006.
- ・「歴史時代の災害と稲荷祭」、朱 50、2007.
- ・「12～13世紀における京都の大火災」、歴史都市防災論文集 1、2007.
- ・「歴史時代の災害復原とその現代的意義」、文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト Newsletter 9、2007.
- ・「京都を襲った歴史時代の洪水－9～14世紀を中心に－」、(立命館大学文化遺産防災学「ことはじめ」篇出版委員会『文化遺産防災学「事始め」篇』、アドスリー)、2008.
- ・「『枕草子』にみる郊外あそび－王朝時代の生活の一場面－」(立命館大学文学部京都文化講座委員会編『京の生活 立命館大学京都文化講座 京都に学ぶ4』白川書院)、2009.
- ・「平安京と災害－12～13世紀の火災を例に－」、京都だより 398、2009.
- ・Floods of Historical Age in Kyoto –Focusing on the 9th-14th Centuries–, in Research Center for Mitigation of Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University ed.: “Introductory Volume” to Cultural Heritage Disaster Mitigation Studies, The Publication Committee of the “Introductory Volume” to Cultural Heritage Disaster Mitigation Studies, Ritsumeikan

University, 2010.

- ・「平安京の災害絵巻－水の襲来と火の連鎖－」（立命館大学文学部京都文化講座委員会編『京の風土と景観 立命館大学京都文化講座 京都に学ぶ5』白川書院）、2009.
- ・「山背の古道を地名から探る－広隆寺を通過する「斜めの道」の存在－」、地名探究 8、2010.
- ・「地理から見える枕草子の風景」、中古文学 87、2011.
- ・「清少納言の見た雪山」、国語教室 93（大修館書店）、2011.
- ・『京都の歴史災害』、思文閣出版、2012（吉越昭久と共編）.
- ・「十七世紀後半における賀茂川の洪水と堤防の建設」「安元三年の大火と風向」（吉越昭久・片平博文編『京都の歴史災害』、思文閣出版）、2012.
- ・「平安京北郊にあった雲林院の発展と衰退」、立命館地理学 24、2012.
- ・「平安京・京都の洪水と旱魃－史料分析を中心としたアプローチ－」（立命館大学「テキスト文化遺産防災学」刊行委員会編『テキスト文化遺産防災学』、学芸出版社）、2013.
- ・「平安京北郊における有栖川の流れ」、立命館文学 630、2013.
- ・「白河法皇の怒りと歎き－歴史地理学から「天下三不如意」の深層に迫る－」立命館地理学 25、2013.
- ・「鴨川を越えた大火－建長元年三月二十三日の火災－」、(吉越昭久編『災害の地理学』、文理閣)、2014.
- ・「平安京と賀茂祭の風景－路頭の賑わい－」、(立命館大学地理学教室編『観光の地理学』、文理閣)、2015.